品番 ❶
PDL-G型

家庭用

マイコン電動ポット〈急速 湯冷まし〉

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

便利な機能

キーを押したときなどのブザー音を消せる
消音機能 P.5

急速 湯冷まし P.7
80保温、70保温選択時は、沸とう後、ファンにより設定温度まで急速に湯冷ましします。

お湯の保温温度が選べる
保温選択 P.8
95保温、80保温、70保温が選べます。

湯わかし時間を延長し、おいしいお湯がわかせる
カルキぬき P.10

必要な時間にお湯がわく **節電タイマー** P.10

調理時間が計れる **キッチンタイマー** P.11

内容器の落ちにくい汚れが洗浄できる
クエン酸洗浄 P.12

日本国内100V専用(交流100V以外の電源では使用できません)

もくじ

はじめに

使いかた

困ったときは

その他

内容器や本体内部のポンプが汚れていると、お湯が出なくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。(P.12参照)

点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL (　　)

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差込プラグを抜く）

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。

蒸気孔に触ったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。
沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠注意

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

交流100V以外では使わない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、水が給水マークより少ない場合は、内容器の変色・故障のおそれ。

ふたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。
また、ふたの変形の原因。

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯のすてかたは、P.4・9参照）

吸・排気孔やすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
感電や異常動作によるけがのおそれ。

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。

1 安全上のご注意

⚠注意

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート·感電·故障の原因。

蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート·感電·故障の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

30cm

ふたを開けたりはずすときに出る蒸気や露にふれない。
やけどの原因。

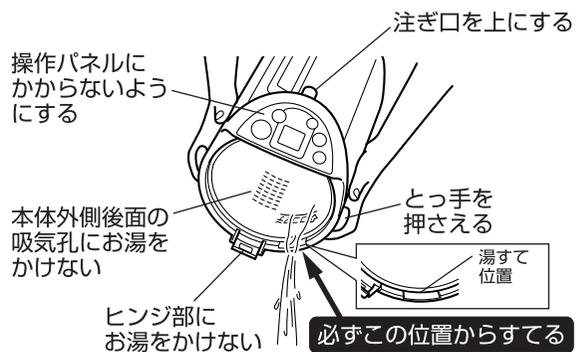
湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を動かさない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたが開いて、けが·やけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。
別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。またやけどのおそれ。

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電・故障の原因。

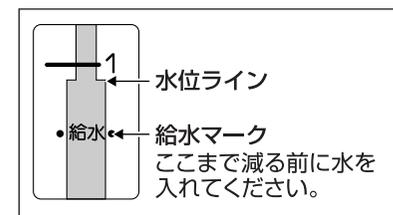
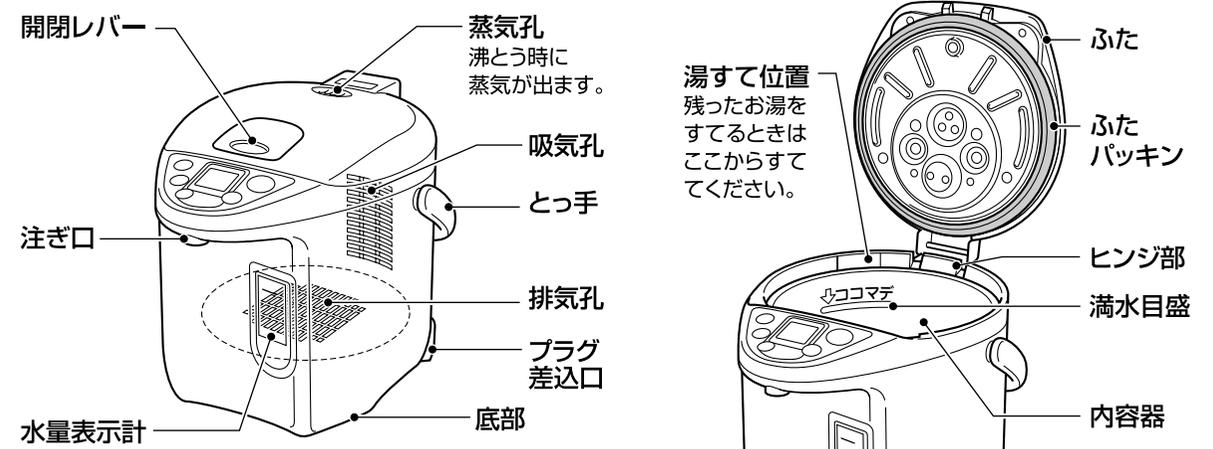
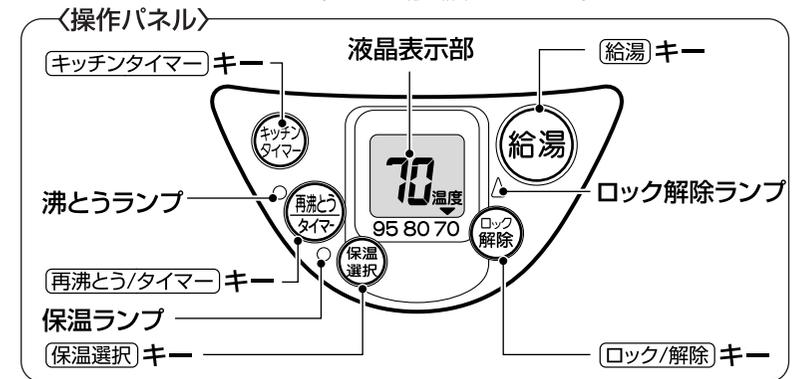
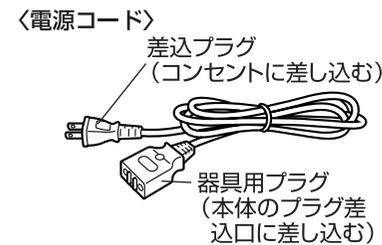
本体をさかさにして置かない。
底部が水にぬれていると、底部から水が本体内に入り故障の原因。

末永くご使用いただくためのご注意

- **吸·排気孔をふさぐような場所や、室温の高い場所(約40℃以上)では使わない。**
  カーペット、ビニール袋などの上には、置かない。感電や漏電、火災·故障の原因。
- **熱に弱いものや、溶けやすいものなどの近くで使用しない。**
  底から暖かい空気が出るため、変色・変形の原因。
- **火気の近くでは使わない。**
  変形·故障の原因。
- **直射日光が長時間あたる場所では使わない。**
  本体が熱くなるなど、故障の原因。
- **カラだきをしない。**
  水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。
- **備長炭などの炭を入れて使わない。**
  故障、フッ素加工のはがれの原因。
- **キッチン用収納棚など、囲われた場所で使うと、80保温·70保温選択時の湯冷ましの時間が長くかかることがありますので、ご注意ください。**
- **機能·性能を維持するため、製品に穴を設けておりますが、この穴からまれにほこりや虫が入ることがあります。この場合は、有償修理になります。弊社までお問合せください。**

2 各部のなまえとはたらき

付属品

〈電源コード〉

音について

湯わかし中や保温中にする下記の音は故障や異常ではありません。
- 「ゴー」という音(湯わかし中に内容器内で発生する泡がはじける音)
- 「ブーン」という音(保温中にファンが作動している音)

3 消音機能の使いかた

沸とうのお知らせ音や、キーを押したときなどのブザー音(「ピッ」、「ピピッ」など)を消すことができます。
赤ちゃんのおやすみ中などにご使用ください。

■消音のセットのしかた

キッチンタイマー キーと 保温選択 キーを同時に約3秒間押し続ける。

ピッ
キッチンタイマー
保温選択
同時に約3秒間押す

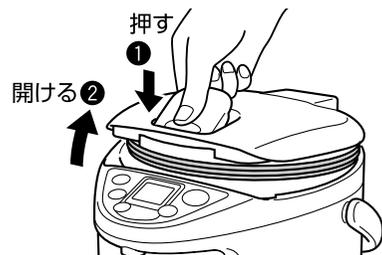
※消音をセット中にプラグをはずすと、消音機能は解除されます。
※異常時やプラグがはずれたときは、消音のセット中でもブザー報知します。

■消音の解除のしかた

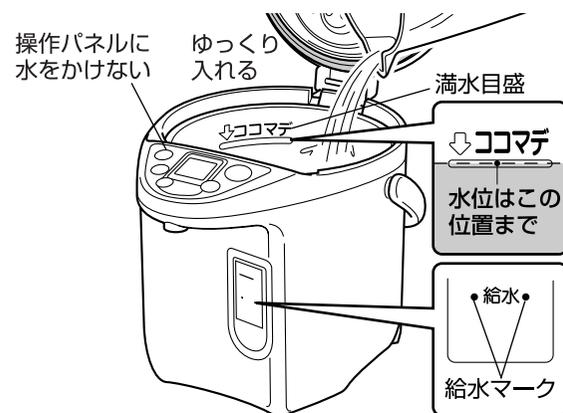
再度、キッチンタイマー キーと 保温選択 キーを同時に約3秒間押し続ける。

4 お湯のわかしかた

はじめてお使いになるときやしばらく保管されていたときは、一度手順通りにお湯をわかしてください。
その後、給湯して残り湯をすててからお使いください。

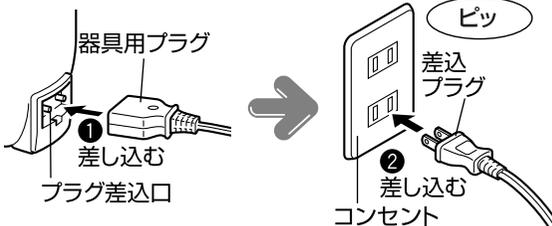
1 ふたを開ける

音 ふたを開閉するとき「カラ、カラ」と音がしますが、お湯の流出を防止する弁（せんバルブ）の音で異常ではありません。

2 水を別の容器で入れる

水を、水量表示計の「給水マーク」以上、内容器の「満水目盛」までの間に入れます。

ご注意
- ●蛇口から直接水を入れないでください。あふれるとショートや感電の原因になります。
- ●「満水目盛」を超えて水を入れないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。
- ●「給水マーク」より少ない水量で湯わかしをしないでください。カラだきによる内容器の変色、故障のおそれがあります。
- ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を入れたときは、こまめにお手入れしてください。（P.11参照）

3 ふたを確実に閉める

ご注意 ふたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出て、やけどをするおそれがあります。

4 電源コードを接続する

5 湯わかしがはじまる

※保温温度を選ぶときは、P.8参照。
（選ばない場合は、自動的に70保温になります。）
※カルキぬき沸とうをするときは、P.10参照。
※節電タイマーを設定するときは、P.10参照。

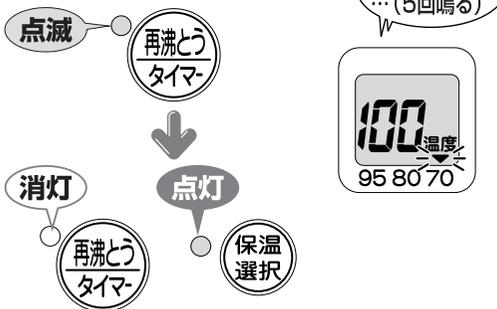
音 内容器に水が入っていない状態や、ごく少量の水量でお湯を沸かすと、「ピピピ…」と音がして、沸とうランプと保温ランプが交互に点滅してお知らせし、ヒーターへの通電が止まります。（P.14参照）

■湯わかし中…

現在の湯温 / 沸とうするまでの残時間

※水量や水温によって残時間が表示されはじめる時間が異なります。
※残時間は目安です。室温や水量などによって多少の誤差が生じることがあります。
※お湯の温度は、5℃きざみに表示されます。
（約98℃のときは、「98」を表示します。）
※湯わかし終了の約1〜2分前になると、ファンが作動します。

6 自動的に保温する

■沸とうしたら…

■設定温度になるまで･･･

〈80保温・70保温を選択時〉

ファンにより、設定温度まで急速に湯冷ましします。

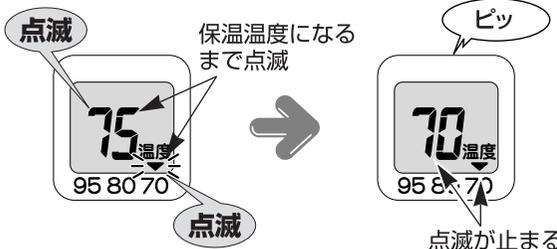
現在の湯温 / 設定温度になるまでの残時間

約10秒ごとに交互に表示

※水量や水温によって残時間が表示されはじめる時間が異なります。
※残時間は目安です。室温や水量などによって多少の誤差が生じることがあります。
※お湯の温度は5℃きざみに表示されます。
※キッチン用収納棚など、囲われた場所で使った場合、湯冷ましの時間が長くかかることがあります。

〈95保温を選択時〉

※95保温の場合は、残時間は表示されません。

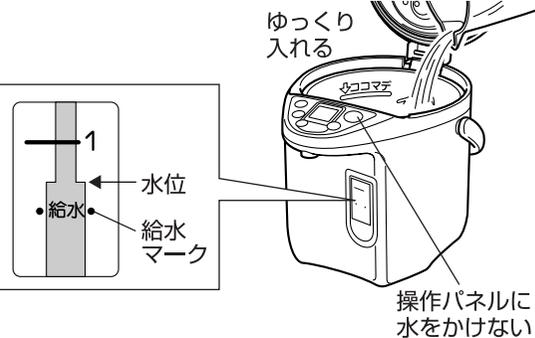
■湯温が設定温度になると…（例：70保温を選択時）

ご注意
- ●蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。
- ●湯わかし中や直後は、ふたを勢いよく開閉したり、給湯しないでください。お湯が飛び散ったり、蒸気がふき出して、やけどをするおそれがあります。

沸とう時間と選択した保温温度になるまでの時間の目安

項目	時間
水から沸とうするまで	約17分
沸とうしてから95保温になるまで	約14分
沸とうしてから80保温になるまで	約26分
沸とうしてから70保温になるまで	約45分

※水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100Vのとき。
※沸とうすると同時に保温ランプが点灯します。

5 給水のしかた

水量表示計の水位が給水マークに近づいてきたら、ふたを開け、必ず給水する。（P.6参照）

ご注意
- ●約60℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしが開始されない場合があります。少しさめたお湯か水を入れてください。または再沸とうさせてください。（P.9参照）
- ●ふたを開けるときは、蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。
- ●水を入れずにそのまま放置しないでください。カラだきとなり、故障の原因になります。

使いかた

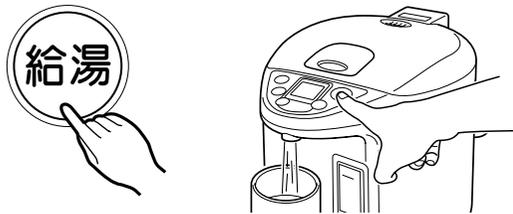
6 お湯の注ぎかた

1 ロック解除 キーを1回押す

音

70保温選択時の急速 湯冷まし中に ロック解除 キーを押すと、「ピピピ」と音でお知らせします。

2 給湯 キーを押す

お湯を入れる容器を注ぎ口に合わせて 給湯 キーを押します。
押している間、注ぎ口からお湯が出ます。

ご注意
- 湯量が少ないときに給湯を行うと、お湯が飛び散ることがありますので、注意してください。
- 小刻みに 給湯 キーを押さないでください。お湯が飛び散ったり、故障の原因になります。
- プラグをはずすと、給湯できません。
- 沸とう直後に給湯を行うと、お湯が出にくくなることがありますが、蒸気に注意してふたを開けると直ります。
- 給湯後、約20秒間 給湯 キーを押さなかった場合、ロック解除ランプが消灯して自動的にロックされます。

3 ロック解除 キーを1回押す

給湯 キーがロックされ、押しても給湯ができません。

4 容器をはなす

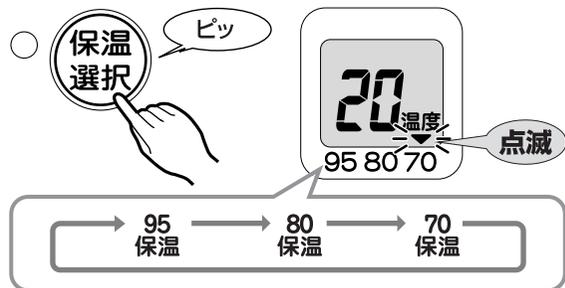
注ぎ口からお湯が途切れるのを確認してから容器をはなしてください。

7 保温温度の設定のしかた

お湯の保温温度は95保温(約95℃)、80保温(約80℃)、70保温(約70℃)の3種類から選択できます。

ご注意 水量表示計の「給水」マーク以上の水量で保温してください。水温が正しく表示されないことがあります。

■設定のしかた

湯わかし中や保温時に、保温選択 キーを押します。押すごとに▼が順番に移動し、希望の保温温度で指をはなします。
※設定した保温温度になると、▼の点滅が止まります。

現在設定している温度より高い温度に切り替えた場合は、沸とうすることがあります。

設定中にプラグがはずれた場合、再度プラグを接続すると70保温になります。

■「95保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約95℃で保温します。カップめんを作るときやコーヒー、紅茶、番茶などを入れるときに最適です。

■「80保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約80℃で保温します。煎茶などを入れるときに最適です。95保温に比べて保温時の電気代が節約できます。

■「70保温」に設定した場合

沸とう後、お湯を約70℃で保温します。高級茶を入れるときに最適です。

■「70保温」で調乳をする場合

- 粉ミルクの調乳の際には、お手持ちの粉ミルクの記載内容に沿って調乳してください。
- 調乳後、哺乳びんに流水をあてるか、水の入った容器に入れて、授乳できる温度(体温くらい)まで冷ましてから授乳してください。(授乳前に温度の確認は必ず行う。)

ご注意
- 調乳する際、哺乳びんが熱くなりますので、やけどには充分ご注意ください。
- 調乳の前に、コップ1杯ほどのお湯を捨ててから調乳に使ってください。(水量表示部の水量管の中のお湯がぬるくなっている場合があるため。)
- 内容器に直接粉ミルクを入れないでください。こげつき・腐食・故障・やけどの原因になります。調乳は、必ず哺乳びんで行ってください。

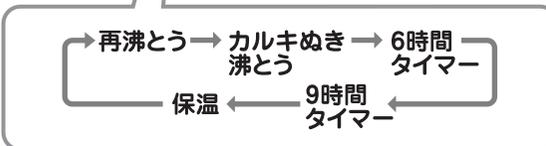
8 再沸とうのしかた

保温中のお湯を、再び沸とうさせることができます。

1 「給水マーク」以上のお湯が入っていることを確認する(P.6参照)

2 保温の状態で、再沸とう/タイマー キーを1回押す

押すごとに機能が切り替わります。

再沸とう → カルキぬき沸とう → 6時間タイマー → 9時間タイマー → 保温

■湯わかし中…

現在の湯温　沸とうするまでの残時間

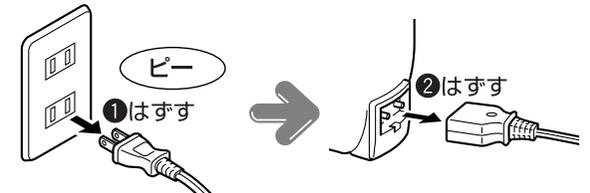
満水時に沸とうするまでの時間の目安

95保温のとき	約5分
80保温のとき	約7分
70保温のとき	約8分

※水を注ぎ足したり、プラグを接続し直したときは、さらに約3～4分長くなります。

9 使い終わったら

1 プラグをはずす

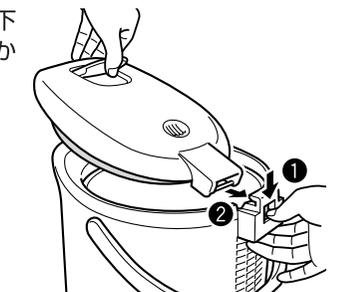
すべてのランプが消灯します。

2 ふたをはずす

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたを注ぎ口側に引くように開けてはずします。

3 残り湯をすてる(P.4参照)

ご注意
- お湯が飛び散らないように、ゆっくりとすててください。また、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけてすててください。お湯が飛び散ってやけどをするおそれがあります。
- お湯をすてた後は、注ぎ口からしずくが落ちることがあるので注意してください。

4 ふたを取りつける

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたの引っかけ部を差し込みます。

ご注意
- 残り湯は放置しないでください。内容器の変色やにおいの原因になります。
- ふたをつけたままや注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部からお湯をすてると、お湯が手にかかってやけどしたり、故障の原因になります。

10 カルキぬき沸とうのしかた

カルキぬき沸とう機能は、通常よりも湯わかしの時間を延長して、お湯のカルキ臭を減らします。

ご注意 カルキぬき沸とうをするときは、給水マーク以上のお湯が入っていることを確認してから行ってください。

■水からカルキぬき沸とうをする場合

プラグ接続後、再沸とう/タイマーキーを1回押します。湯わかしが始まります。

※湯わかし中の液晶表示は、通常と同じです。(P.6参照)

■保温時にカルキぬき沸とうをする場合

再沸とう/タイマーキーを2回押します。湯わかしがはじまります。

■カルキぬき沸とうが終了したら…

※沸とう後、自動的に保温します。(P.7参照)

※湯わかし終了の約1～2分前になると、ファンが作動します。

ご注意
- 通常の湯わかしよりも蒸気の量が多くなりますので、ふれないように注意してください。
- 高度浄水処理水の場合は、カルキがぬけにくくなります。この場合は、再度カルキぬき沸とうを行ってください。

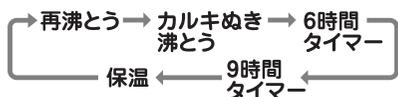
11 節電タイマーの使いかた

節電タイマーは、約6時間後または約9時間後に設定できます。
必要な時間に合わせてお湯をわかしますので、おやすみになるときや外出時に節電タイマーをセットすると、電気代を節約できます。

再沸とう/タイマーキーを押し、時間を選ぶ

液晶表示部で確認をしながら、節電する時間(「あと6時間」または「あと9時間」)と「節電」マークを表示させてください。

押すごとに機能が切り替わります。

沸とうランプまたは保温ランプが消灯

※図は「あと6時間」の場合

※沸とうランプまたは保温ランプが消灯し、節電タイマーが終了するまでの残時間を、1時間きざみで表示します。

■設定時間の1時間前になると…

湯わかしがはじまり、59～1分まで分きざみで表示します。

■湯わかしが終了すると…

選択されている保温温度で保温します。(P.8参照)
(ピーピー…という音は鳴りません。)

ご注意 節電タイマーをセットすると以下の操作・機能は働きません。
- ・給湯できません。
- ・キッチンタイマーは使えません。作動中のキッチンタイマーは解除されます。

節電タイマーを解除して、湯わかしをするときは…

再沸とう/タイマーキーを押して、沸とうランプを点灯させてください。湯わかしが開始されます。

12 キッチンタイマーの使いかた

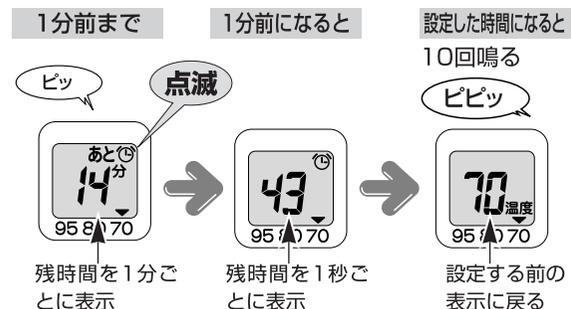
1分から30分まで1分単位で設定できるキッチンタイマー機能は、お料理などでお使いになると、便利です。

キッチンタイマーのセットのしかた

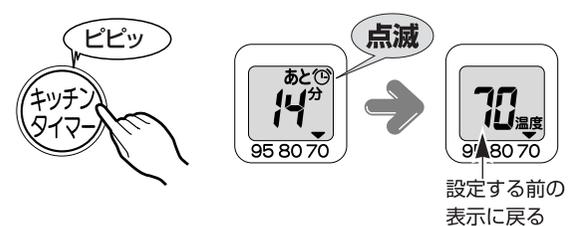
キッチンタイマーキーを押して時間を設定する

押すごとに、1～30分まで1分ずつ切り替わります。
※押し続けると、早送りになります。

ご注意 キッチンタイマーは、節電タイマー作動中は使用できません。(P.10参照)

■キッチンタイマーが開始されると…

キッチンタイマーの解除のしかた

「あと何分」と表示されているときにキッチンタイマーキーを押す

設定する前の表示に戻る

13 お手入れのしかた

◆プラグをはずし、残り湯をすてて、冷えてからお手入れする。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

ご注意
- 本体は水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
- 丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- 洗剤・シンナー類・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わないでください。
- 食器洗浄機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。

各部	お手入れのしかた
内容器	**■内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について** 内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。 ❶スポンジで洗う。 **ご注意** ●クレンザーやたわし類を使わないでください。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなります。 ●フッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。 ●カラだきによる変色はとれません。 ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があります。故障の原因にもなりますのでよりこまめにお手入れしてください。 ❷スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸(別売)で洗浄(2～3ヶ月に1回)する。(P.12参照) ※クエン酸は当社の「電気ポット内容器洗浄用クエン酸」(品番:PKS-0120)をお使いください。
ふた・本体外側	かたくしぼった布で汚れをふき取る。 **ご注意** 本体背面の吸気孔と底面の排気孔に、ほこりなどが入らないよう、こまめにお手入れしてください。
電源コード	乾いた布でふく。

13 お手入れのしかた

クエン酸洗浄のしかた

内容器のクエン酸洗浄をするときは、下記の内容を必ず守ってください。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれがあります。
- ●お湯は入れないで必ず水から洗浄を行ってください。
- ●満水目盛以上の水を入れないでください。
- ●洗浄中は、ふたを開けないでください。
- ●洗浄中は、沸とうするので蒸気に注意してください。

※クエン酸での洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

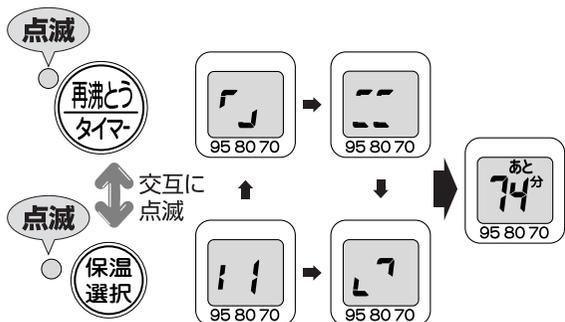
クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.15参照）で、品番：PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」とご指定のうえ、お買い求めください。
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

内容器のにおいや汚れが目立ってきたら、内容器のクエン酸洗浄（2～3カ月に1回の目安で行う）

❶クエン酸 約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。
❷満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、ふたを閉める。（P.6参照）
❸プラグを差し込み、再沸とう/タイマーキーと保温選択キーを同時に約3秒間押し続ける。

同時に約3秒間押す

洗浄が開始されます。洗浄中は沸とうランプと保温ランプが交互に点滅、液晶表示が下図のように移動して知らせます。その後洗浄の残時間の表示に切り替わります。

〈洗浄時間の目安:約1時間30分*〉＊水温により異なります。

❹洗浄が終わると「ピーピー…」と音が10回鳴り、沸とうランプと保温ランプが点灯します。液晶表示は下図のようになります。

❺プラグをはずしてお湯をすてる。
汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。
❻クエン酸の残り水を取るため、水だけで通常どおりにわかし、約半量を給湯してから、残りのお湯をすてる。

ご注意 クエン酸洗浄を途中で解除するときは、プラグをはずす。通常どおりお湯をわかすときは、必ずお湯（クエン酸の液）をすててから使う。

お湯が出なくなったら本体内部のポンプのクエン酸洗浄（半年に1回の目安で行う）

内部のポンプにミネラル成分が固まって、お湯が出なくなることがあります。
そのときは、下記の手順で、内部のポンプをクエン酸洗浄してください。

❶クエン酸　約30g（大さじ2～3杯）を、コップ1杯のお湯（約200mL）で溶かし、内容器の底の穴に入れてふたを閉め、そのまま約2時間放置する。
❷内容器の3分の1まで水を入れてふたを閉め、プラグを差し込んで沸とうさせる。（90保温を選択）
❸90保温の状態で、2～3時間放置する。
❹給湯キーを押して、お湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出す。
❺プラグをはずし、冷めてから内容器をスポンジで水洗いする。
❻クエン酸のにおいを取るため、水だけで通常どおりにわかし、約半量を給湯してから、残りのお湯をすてる。

長期間ご使用にならないときは

❶P.11の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
❷各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）
❸ポリ袋などで密封して保管する。

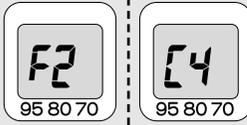
ご注意 保管するときは、ポリ袋などで密封して虫やほこりなどが入らないようにしてください。

14 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
お湯がわかない。すべてのランプがつかない。	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	6
「ピー」と音がして、表示部のランプや液晶がすべて消えた。	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	6
沸とうランプに切り替わらない。	約60℃以上のお湯を入れていませんか。	少しさめたお湯か水を入れてください。	7
		再沸とう/タイマーキーを押して沸とうさせてください。	9
お湯がぬるい。	1杯目のお湯は水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなることがあります。		–
お湯が自然に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以内にしてください。	6
お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにしてください。傾けた状態で給湯するとお湯が出ない場合があります。	–
	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	6
	自動ロックになっていませんか。	ロック解除キーを1回押してください。ロック解除ランプが点灯して、給湯ができます。	8
	沸とう直後ではありませんか。	沸とう直後に給湯しますと、お湯が出にくくなることがあります。蒸気に注意して、一度ふたを開けてください。	8
	内容器・本体内部のポンプが汚れていませんか。	内容器・本体内部のポンプをクエン酸洗浄してください。	12
表示部がくもる。	水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置きませんでしたか。	水をすて、プラグを接続せずにくもりがなくなるまで放置する。	–
	本体をさかさにして置きませんでしたか。		
	給水するときに、操作パネルに水をかけませんでしたか。		
お湯がにおう。	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがあります。ご使用とともに少なくなります。		–
	水道水に含まれるカルキ（消毒用塩素）のにおいではありませんか。	「カルキぬき」でお湯をわかしてください。	10
	ビニールシートなどの敷物の上で使っていませんか。	ビニールシートなどの敷物の上で使用するとお湯に敷物のにおいが移ることがあります。	–
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	12
沸とうする前に、ファンが作動しはじめる。	湯わかし終了の約1～2分前になると、ファンが作動します。故障ではありません。		6·10
湯冷ましの時間が長くかかる。（80保温、または70保温を選択時）	室温が高い場所や、キッチン用収納棚など、囲われた場所で使った場合、湯冷ましの時間が長くかかることがあります。		4・7

14 故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
保温中、表示部の水温が点滅する。	80保温、または70保温を選択時、設定温度になるまで（ファンによる急速湯冷まし中）は、水温表示が点滅します。故障ではありません。		7
設定温度になってからも、表示部の水温が変わる。	少量の水量で保温していませんか。	水量表示計の「給水」マークよりも少ない水量で保温すると、保温中、水温表示が変わることがあります。早めに給水してください。	7·8
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。		5
	内容器が汚れていませんか。（内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。）	内容器をクエン酸で洗浄してください。	12
底から暖かい風が出る。	80保温、または70保温を選択時、設定温度になるまでファンによる急速湯冷ましを行うため、暖かい風が出ます。故障ではありません。		7
吸・排気孔に水が入ってしまった。	逆さにせずに本体を立てたまま、風通しの良い場所で乾燥させてください。 ※乾燥させても、作動しない場合は、プラグをはずした後、お買い上げの販売店にご相談ください。		–
保温中に「ブーン」という音がする。	ファンが作動している音で、故障ではありません。		5
本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。異常ではありません。		–
警告音とともに沸とうランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。 F2 95 80 70 / C4 95 80 70	カラまたはごく少量の水量で湯わかししていませんか。	プラグを抜き、水を水量表示計の「給水」マーク以上まで入れて、しばらくしてからプラグを差し込んでください。 ※ファンが作動する場合がありますが、故障ではありません。	6・7
	お湯を使いきったまま長時間放置したり、給水するためにふたを開けたままで放置していませんか。		
	水をつぎたしたときに、勢いよく入れませんでしたか。	プラグを抜き、しばらくしてからプラグを差し込んでください。	
警告音とともに沸とうランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。 C5 95 80 70	吸・排気孔にホコリなどが詰まっていませんか。	プラグを抜き、本体背面の吸気孔と底面の排気孔のお手入れをしてください。 ※それでも表示する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	11
	キッチン用収納棚など、囲われた場所で使っていませんか。	プラグをはずし、場所を変えて、再度プラグを接続してください。	6・9
	室温が高い場所で使っていませんか。	室温が高い（約40℃以上）場所で使わないでください。	4
警告音とともに沸とうランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。 C1 95 80 70	給水やお手入れするときに、本体内部に水が入って故障している場合があります。 お求めのタイガー製品販売店に修理をご依頼ください。		–

消耗部品について

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗部品です。水質や使いかたにより異なりますが、ご使用にともない傷んできます。1年を目安にご確認ください。汚れや破損がひどくなったり、ふたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換（有償）してください。

ふたパッキンのはずしかた

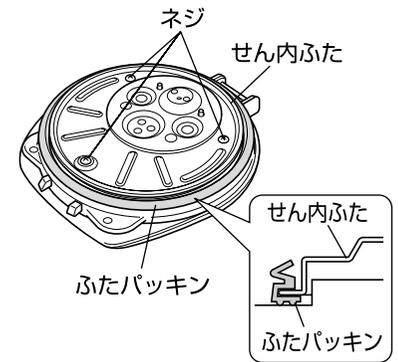
❶3本のネジをゆるめる。

ネジはゆるめるだけでせん内ふたをふたからはずさないでください。完全にはずすとその他の部品がはずれるなどをして蒸気もれやお湯が出ない原因になります。はずれてしまったときは、下図[図-A]のように正しく取りつけてください。

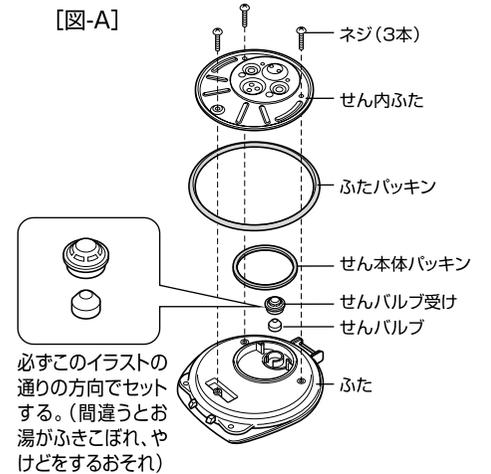
❷ふたパッキンをはずす。

ネジ　せん内ふた　せん内ふた　ふたパッキン　ふたパッキン

ふたパッキンのつけかた

❶せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。
❷最後にネジを確実に締めつける。

ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で、部品番号：PDB1111とご指定の上、お買い求めください。
※ふたパッキンを交換しても不具合のときは、その他のパッキン類、樹脂部品などが傷んでいる場合がありますので、お問い合せの上、お買い求めください。

樹脂部品について
※熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお求めのタイガー製品販売店にご相談ください。

[図-A]

必ずこのイラストの通りの方向でセットする。（間違うとお湯がふきこぼれ、やけどをするおそれ）

仕様

項目		仕様
定格容量		2.0L
電源		交流100V　50-60Hz
湯わかし時の消費電力		905W
年間消費電力量*		439kWh/年
1日当りの消費電力量*		1.20kWh/日
外形寸法（約）（とっ手を倒した状態）	幅	23.2cm
	奥　行	29.2cm
	高　さ	23.5cm
質量（約）（電源コードを含む）		2.1kg
温度過昇防止装置（温度ヒューズ）		152℃
コードの長さ（約）		1.2m
電動ポンプの消費電力（約）		1.5W

* JEMA（日本電機工業会）自主基準による測定（室温23℃、湯わかし2回／1日、再沸とう1回／1日、保温95℃で23時間／1日、365日／年間、その他水量等の試験条件：JEMA自主基準HD-112に基づく）
※特定地域（高山（こうざん）・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はお避けください。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社
本 社　〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/